

2-7 アフリカ豚熱

アフリカ豚熱とは

アフリカ豚熱は、アフリカ豚熱ウイルスの感染により起こる、発熱や全身性の出血性病変を特徴とする豚、イノシシの伝染病です。致死率が高い伝染病であり、有効なワクチンや治療法がなく、発生した場合の畜産業界への影響が甚大であることから、法定伝染病に指定されています。

アフリカ豚熱はもともとアフリカ地域に限定して発生していましたが、2007年に欧州での発生が確認されてから感染地域が拡大しており、2018年8月に中国でアジア初の発生が報告されて以降、アジア地域での感染が継続・拡大しています。これまでのところ、我が国では発生がありませんが、海外からの侵入に警戒し、監視を強化しています。

サーベイランスの方法と実施状況

アフリカ豚熱の国内への侵入及び発生を予察するために、飼養豚及び野生イノシシのサーベイランスを実施しています。

【飼養豚】

(1) サーベイランスの方法

①定期的な農場の立入検査

原則として年に1回、豚飼養農場に家畜保健衛生所が立入検査を行い、チアノーゼや発熱等の異常が認められた場合は豚熱の検査に加えて、アフリカ豚熱の検査も実施。

②病性鑑定材料を用いた検査

生産者等の依頼を受けて、家畜保健衛生所で豚の病性鑑定を行った場合に、豚熱の検査に加えて、アフリカ豚熱の検査も実施。

(2) サーベイランスの実施状況

①定期的な農場の立入検査

2021年度は、4,009農場に対して立入り検査を行い、異状が認められた農場はありませんでした。

②病性鑑定材料を用いた検査

2021年度は531農場、2,195頭からの病性

鑑定材料についてアフリカ豚熱の検査を実施し、結果は全て陰性でした。

【野生イノシシ】

(1) サーベイランスの方法

豚熱の検査（→P33参照）のために集められた、死亡した状態で見つかったイノシシと、捕獲されたイノシシの一部について、アフリカ豚熱の検査を実施。

(2) サーベイランスの実施状況

2021年度は、死亡イノシシ647頭、捕獲イノシシ12,526頭が検査され、全て陰性でした。

2-8 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ

鳥インフルエンザとは

鳥インフルエンザは、A型インフルエンザウイルスが引き起こす鳥類の疾病で、家畜伝染病予防法では、病原性の種類と変異の可能性によって、致死率が高い強毒型のものを高病原性鳥インフルエンザ、H5及びH7亜型のウイルスで弱毒型のものを低病原性鳥インフルエンザ、それ以外のものを鳥インフルエンザとしています。

H5亜型高病原性鳥インフルエンザは世界中で感染が起っており、日本でも晩秋～春先にかけて家きんにおける発生が多発しています（→特集2参照）。

一方、低病原性鳥インフルエンザは、伝搬力は強いもののほとんど臨床症状を示さず、発見が遅れるおそれがあり、海外では高病原性に変異した事例も報告されています。

感染鶏に対する治療法はなく、発生が確認された場合は殺処分による防疫措置がとられます。感染鶏の早期発見と届出が感染拡大を阻止する上で重要です。

サーベイランスの方法

死亡率の上昇などの異状通報を受けて検

査を実施するパッシブサーベイランスに加え、鳥インフルエンザの浸潤状況を確認するため2種類のモニタリングを実施しています。

(1) 定点モニタリング

野鳥の飛来地周辺に所在する農場など感染リスクが比較的高い農場を選定し、毎月1回、継続的な検査（ウイルス分離検査及び血清抗体検査）を実施。

(2) 強化モニタリング

渡り鳥の飛来シーズンとなる10月から翌年5月までの間に、各都道府県における飼養戸数に応じた血清抗体検査を実施。

サーベイランス実施状況

2021年（2021年1月～12月）に実施された定点モニタリング、強化モニタリングのいずれにおいても鳥インフルエンザ陽性個体は摘発されませんでした。

なお、感染の早期発見のため、秋冬に飛来するガンカモ類の糞便や死亡野鳥の鳥インフルエンザウイルス保有状況調査を環境省が実施しています。

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/

2-8-1表 家きんにおける鳥インフルエンザ発生件数の推移

	2019年	2020年	2021年
高病原性鳥インフルエンザ ^(注)	0	33	29
低病原性鳥インフルエンザ	0	0	0

(注) 冬季から春季までをシーズンと考えた場合の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザ発生件数は以下のとおり。
2019～2020年シーズン：発生なし
2020～2021年シーズン：52件
2021～2022年シーズン：25件

2-8-2表 2021年鳥インフルエンザモニタリング実施状況

		戸数	羽数
定点モニタリング	ウイルス分離	5,536	55,370
	抗体検査	5,579	55,260
強化モニタリング	抗体検査	1,720	17,542